

東京都議会議員選挙(目黒区選挙区)選挙公報

(定数3人)

東京都選挙管理委員会

「東京イチ身近」な都議会議員として毎日活動中！
月に1回のタウンミーティングで地域の声を都政に届けています！

- 安心して健やかに暮らせる目黒のために
私はこう行動していきます！
- 1 所得を上げ、可処分所得を増やす**
物価高の中で給料が上がらなければ生活は苦しくなるばかりです。賃上げや非正規から正社員への雇用転換に取り組む企業への支援を強化します。また、住宅手当を支給する企業への支援も拡充し、家賃負担を減らすことで自由に使えるお金を増やします。
 - 2 首都直下地震への備えを強化**
今後30年以内に70%の確率で発生するとされる首都直下地震に備え、住宅の耐震化やマンションへの防災資機材の配備を進めます。能登地震の教訓を踏まえ、避難所には小型の衛星通信機器を導入し、災害時の通信を確保します。
 - 3 特養ホーム待機ゼロへ**
目黒区では約600人が特養ホームに入らず待機しており、家族の介護負担が深刻です。地域密着型の施設やグループホームの整備、地方の特養との連携、在宅介護支援の強化を進め、待機高齢者ゼロを目指します。
 - 4 火葬場の高騰を是正**
民間火葬場の料金がここ数年で約2倍に。火葬場は公共性の高い施設であり、永続性・非営利性が求められます。不透明な値上げが行われている現状に対し、都と自治体が連携し、価格の透明化と適正化を求めていきます。
 - 5 サイバーセキュリティ対策を強化**
個人情報のデジタル化が進む中、企業や病院には万全なセキュリティが求められます。対策費用への補助を拡充し、都庁や都立病院の対策も強化。都民の個人情報を守る体制を整えます。

「詳しい公約の内容や
「青木英太ってどんな人？」
を動画で分かりやすく解説！
ぜひご覧ください！」



動画はコチラ

令和6年度
質疑数
122問
2024年6月～2025年3月
期間中の総問・答・特・答・特・
本会館での質疑数



あおき
青木英太
た
無所属 34歳

都議会の、ここを変えたい！

自民・都ファ・公明が一体となって知事を持ち上げ、耳障りなことには触れず、歯向かう議員には発言の取り消しを求め、果ては裏金議員の「免罪条例」まで共同提案で可決。熟議とは程遠い都議会の実態です。国会同様、知事と党の過半数割れで緊張感のある政治を取り戻します。

物価高対策・くらしの底上げ

■ベーシックサービスの充実、生活の負担軽減、住宅支援
■賃上げと働き方改革、非正規労働者の処遇改善・正規化

医療・介護・救急体制の充実

■都立病院の機能強化、救急隊の増強、がん対策条例の制定
■介護基盤の整備・人材の確保、認知症患者と家族の支援

環境保全と安心のまちづくり

■防災・インフラ対策、避難所改善、再エネ普及と緑の向上
■再開発や羽田ルート、巨大噴水の見直し、カジノ誘致撤退

世界一の子ども・子育て支援

■子どもの権利推進、学童対策、都立高の入試改革
■多様で質の高い教育と完全無償化、教員負担の軽減

自分らしく生きられる社会へ

■平和の継承、ジェンダー主流化、ヘイトや差別の解消
■インクルーシブ推進、デフ大会の成功と共生社会の実現

【西崎 翔 プロフィール】 円融寺幼稚園、向原小、九中、都立青山高、東外大英語科卒業。目黒雅叙園勤務、手塚よしお秘書、運輸秘書、区議2期、都議1期、区長選惜敗。3兄弟の父、ビールと野球と猫が大好き。いて座、B型。

あなたの暮らしを守り抜く。
巨大噴水やプロジェクトシンマッピングに巨額が投じられる一方、物価高は重く、都内中間層の経済的な豊かさは全都道府県で42位。都の財政は潤沢なのに、都民の家計は苦しい。政治はカネの力で歪められ、裏金議員は逃げたものの勝ち。こんな、間違っていないんです。いま必要なのは、困難を抱える方々はもちろん、ごく普通に生活する人々を力強く支えること。あなたの暮らしを守り抜く東京へ、私を変えていきます。



立憲民主党
西崎つばさ
41歳

投資銀行での勤務経験を踏まえ、
保有資産を有効活用し「稼ぐ行政」へ転換
堅調に推移する東京都の財政状況を背景に、都民へ還元

松尾ゆうきが掲げる4つの政策

- ① 17兆円を超す予算と30兆円を超す資産の有効活用**
膨大な資産の有効活用(保有不動産の収益物件化)により、東京都の収入を最大化。保有資産の活用による「収益目標」を設定。行政運営に緊張感をもたらす
- ② 新空港線(蒲蒲線)構想の推進による更なる交通アクセスの向上**
羽田空港と渋谷・新宿・池袋・埼玉方面へのアクセスが便利になることで、目黒区を含む東京都全体の利便性向上
- ③ 公教育と私教育の連携による、各家庭における教育負担の低減**
公立小学校における中学受験サポートを含む進路指導体制の強化により、各家庭の負担軽減
- ④ 住民税減税や各種給付により都民へ還元**
住民税減税により都民の可処分所得の増大、物価高が進む中で都民の負担軽減を図るために生活必需品に限定した給付金の支給を検討

松尾ゆうきの思い
東京都が膨大な資産(主たるものは不動産)を持ちながらも、適切に運営出来ていないのではないかと疑問に思い、私自身、もどかしさを感じておりました。他の誰かに託すのではなく、自らの手で変革をもたらすべく、この度、挑戦させて頂きました。ぜひ、私を都議会にて働かせてください！

石丸伸二を代表とする地域政党「再生の道」公認
松尾ゆうき選挙事務所
〒152-0004 東京都目黒区南三ツ目14-4
メゾンマークワン301号室 TEL:03-5734-1309
Mail: matsuo.office.main@gmail.com
HP: https://go2senkyo.com/seijika/196037

松尾ゆうきの経歴
1992年6月12日生まれ0型、33歳
2011年3月 私立麻布高等学校卒業
2016年3月 慶應義塾大学経済学部卒業
2016年4月 証券会社に入社
入社以降、一貫して投資銀行業務(M&Aアドバイザー、公募増資・公募社債の引受等)を担当。主に、不動産、J-REIT業界を担当しており、コーポレートファイナンス・不動産関連に関して、高い専門知識を有する。
趣味はサウナ巡りと野球観戦(東京ヤクルトスワローズのファン)。



まつお
松尾ゆうき
33歳
再生の道公認

成人も親も安心して暮らせる環境を！作りませんか。
共働き期、保育園は入園困難。仕事と保育の時間は合わず、個人の託児も併用した私の場合、託児費用は10年間で3000万円超でした。単純に、こんな経験、次世代都民にさせたくない。

安心して産み育て、働く都市にしませんか。始めてみたら、東京での子育ては木陰もない炎天下、ボール遊び不可の公園、公共遊具の不足など

困り事の連続でした。でも本当は、大人も子供もお年寄りも

「善い暮らし」には共通点が多いはず。だから「安心して暮らせる環境」に向けて生活当事者の視点から提言します。

あなたの声を集めます。あなたの「ため息」お寄せください。今
回私が落選しても一緒に都議会に声を届けに行きましょう。

ご連絡はこちらまで→ bilingualkidstokyo@gmail.com

プロフィール：
米国公認会計士、経営学修士、会社役員、働母、家族は夫と2子



つちやすみこ
無所属

投票日 6月22日(日)
投票時間 午前7時から午後8時まで

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、
期日前投票ができます。

期日前投票期間
6月14日(土)～6月21日(土)
午前8時30分から午後8時まで

期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

健康長寿学を政治で実践！

- ① カラダの健康寿命を延ばす！**
 - 100歳まで歩ける身体作りの推奨
 - 内臓から元気になる生活習慣の提唱
- ② こころの健康寿命を延ばす！**
 - 認知症予防の推進
 - うつやパニック障害の問題解決
- ③ お金の健康寿命を延ばす！**
 - 成年後見制度を使わない仕組みづくり
 - 障害者の親亡きあと問題の解決支援
- ④ 人間関係の健康寿命を延ばす！**
 - 性別を問わない不妊治療への助成増
 - 特別支援教育の質の大改革

あなたの健康不安を
政治で解決します！

推薦人
宮内 康二 後見の杜代表 元東京大学教員 ジェロントロジスト
宮内 美太郎 めぐろ市市民後見人の会代表 社会保険労務士
石田 達郎 目黒3MA会前会長 レイズコンサルティング法律事務所パートナー弁護士
名取 潤 目黒3MA会会員 (株)DCマネジメント代表取締役

健康長寿の党代表
健康長寿の党代表。厚生労働大臣認定はりきゅう師あん摩マッサージ指圧師。産業カウンセラー。はりきゅうサロンLiuLiui院長として鍼灸を駆使して認知症予防、更年期症状、うつ・パニック症等、日々都民の健康長寿のための治療に当たる。社団法人老人病研究会認定Gold-QPD(認知症専門鍼灸師)、日本女性心身医学会認定更年期指導士、日本抗加齢医学会認定指導士、健康管理士、早稲田大学大学院中国文学専攻修了、國學院大学文学部卒業。元目黒11中男子バレーボール部主将。目黒区手をつなぐ親の会会員。こだわり強い電車大好き小学6年生男児を育てるイクメン

目黒区手をつなぐ親の会会員 BNI東京渋谷リージョンTRIUMPHチャプターメンバー



すどうけんたろう
健康長寿の党代表

東京都議会議員選挙(目黒区選挙区)選挙公報

(定数3人)

東京都選挙管理委員会

ホモサピエンスとして50歳
日本人として22歳

帰化日本人の挑戦

法律は人を救う 政治は世を救う

日本人を守るための外国人政策を推進します

①人権侵害の撲滅

人種・出自・性別などによって差別されない東京都をつくります

②外国人の日本語教育・法教育を義務化

外国人の在留にあたって必要な日本語レベルを定めるとともに日本のルールを学習してもらいます。

③イミグレーション手続の国家資格者経由義務化

怪しげなブローカーが外国人入国に関与しています。日本の国家資格者を經由させて不正をなくします。

④外国ルーツの専門職(士業・医師など)の活用

外国人が安心して日本で生活できるように、外国ルーツの士業や医師の活用をはかります。

⑤子どもの暮らしを守る(不登校対策)

イジメ・体罰・不適切指導を撲滅。都民と教育委員会の架け橋になります。

1975年 中国瀋陽(旧奉天)生まれ プロフィール

裁判官、弁護士との両親のもとで育つ

瀋陽大学卒業後、中学校国語教員

1997年 来日

2003年 帰化、日本国籍取得

2004年 行政書士事務所を目黒区で開業

最終学歴/青山学院大学大学院中退

家族/双子女兒、猫11匹、犬1匹

私たちも吉永アイさんを応援しています!

都民の声に耳を傾け、行政とつなぐ力がある人です。

生活者目線と行動力を持つ、吉永藍さんを心から推薦します!

元日野市議会議員 森久保夏樹

外国ルーツだからこそ見える日本の文化や法の大切さ。

吉永藍さんは日本に帰化し、日本と東京をより良くするために尽力されています。

心から推薦します。元青山学院大学大学院客員教授 元株式会社電通法務部長 行政書士 川上正隆

無所属
吉永アイ 50歳詳しくはYouTube
Instagram
Webをご覧ください

推薦人

東京都から目黒区の課題を解決します!!

こまった時は、たぞえ麻友!

区議10年

3児の母

物価高

物価も家賃も
高すぎて
暮らしていけません

ムダを省いて都民税減税! //

都民税減税/ポイント還元キャンペーンの再実施/水道光熱費の補助
貴金アップ促進などの施策で、都民の暮らしを支えます

子育て

子どもの預け先
養育費など不安が
尽きません...

学童待機ゼロ! 安心の子育て環境を! //

学童の待機児童ゼロ/保育の質を向上/屋内施設・プレーパークの促進
ベビシッター補助などの施策で、安心して子育てできる街にします

教育

内申点ももらえず
志望校に行けず
ありません

内申点や不登校に悩まない教育改革! //

内申点なしでも受験を可能に/不登校を生まない新しい公教育づくり
教育現場の働き方改革などの施策で、真の教育改革を進めます

介護

介護のため
仕事をやめられ
ないのでは

介護の時も大丈夫と言える街へ! //

訪問介護・訪問看護、福祉施設への補助/ケアマネジャー支援
老人ホーム待機解消などの施策で、最期まで暮らしやすい街にします

安全(防犯・防災)

最近
物騒だわ...

警察の増強・災害対策の拡充 //

警察署建て替えと人員補強/地域安全活動の支援/災害時のトイレ不足解消
在宅避難・マンション防災支援などの施策で、安全安心な街にします

詳しくはこちら



●目黒区生まれ。目黒サレジオ幼稚園、目黒星美学園小・中・高等学校卒(現:サレジオ国際学園目黒星美小/サレジオ国際学園世田谷中高)。予備校は早稲田塾自由が丘校●早稲田大学政治経済学部卒。SDGsに関する南アフリカ・ヨハネスブルグサミットに参加。バックパッカーとして世界20カ国を巡る●経営コンサルティング会社勤務の後、2015年目黒区議会議員選挙初当選●2016年自宅を母を取取り、現在は実父と3人の子どもの5人家族。



たぞえ麻友 無所属

法律のプロ、24時間闘います!

将来世代へ 待機学童をゼロにします!

■学校施設、都有地の最大活用で定員拡大 ■学童職員への家賃補助新設
■公設民営の推進 ■行政職員が定期的に学童内の指導力を確認できる仕組みづくり
■待機リスト順位、入所予測オンライン公開 ■迅速なキャンセル枠の再分配の仕組み

現役世代へ 空き家活用で家賃値下げへ!

■都で空き家マッチングアプリ作成 ■空き家のリノベーション費用助成
■若者、子育て世帯、スタートアップが相場より安い金額で売買、賃貸できる仕組みづくり
■土業の相談窓口をアプリ内に設置

先輩世代へ 特別養護老人ホームへの入居待機者をゼロにします!

■都有地の有効活用 ■介護職へのさらなる待遇改善
■在宅介護応援(住宅リフォーム補助金や固定資産税減免)

私も応援しています!

小池百合子

もっといい目黒へ
伊藤ゆう 前都議会議員
(4期)の後継者として
政策実現いたします。山口せいやプロフィール
▶1996年8月5日東京生まれ、3人兄弟の長男、目黒区在住
▶2019年 学習院大学法学部政治学科 卒業
▶学生時代はフィールドホッケー部に所属
▶大学卒業後、司法書士試験合格、都内大手司法書士法人に勤務
▶2022年 スターフォード司法書士・行政書士事務所設立都民ファーストの会公認
山口せいや 28歳

世襲なし・政党なし・こころざしあり

目黒区民のみなさまに新しい選択肢!

日本らしさを、これからの時代の力に。確かな政治を目黒から

1 都民に寄り添うデジタル都庁づくり

■AIによる経年劣化した都市インフラ安全状況のリアルタイム監視と早期異常検知システムを構築
■行かない都庁・書かない窓口実現

2 都民の幸福度アップを実感に

■都民の声を聞く力。都民・子ども提案の政策実現

3 防災・防犯 本気に都民を守る東京

■「自助」支援策推進。防災用品を全世帯配布へ

4 「孤育て」解消。こども真ん中東京サポート

■ひとり親家庭支援の所得制限撤廃
■まるごと進学サポート

5 東京発 幸齢社会

■住み慣れた地域で安心して歳を重ねる。医療、介護の連携で不安な療養生活

6 教育改革・若者がつまずいても安心な首都へ

■若者の居場所づくりで不登校児・若者とその家族支援

7 小さな命と共存

■都内ペット同行避難の体制整備
■都内施設で保護犬・保護猫譲渡会実施

【プロフィール】 国務大臣のスタッフとして、衆参両院の事務をサポート。会社を起業し、公的資金で中小企業支援に参画。目黒区長選挙の女性候補者事務所スタッフとして活動する中、政治の閉塞感と、民間企業との間にある危機意識やスピード感のギャップに課題を感じた。ビジネススキルで、政治に新しい風を起こすことを志す。

公式LINEは
こちよ

【経歴】 埼玉県出身 目黒区在住 慶應義塾大学法学部政治学科(社会人入学在学中) 大手通信キャリアにて、DX 担当。その後、衆参両院議員事務所スタッフ。2023年に企業支援の会社を設立。現在、女性の起業、中小企業支援に鋭意活動中。



加藤あやこ 無所属

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日
投票時間

6月22日(日)

午前7時から午後8時まで

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

・期日前投票期間

6月14日(土)~6月21日(土) 午前8時30分から午後8時まで

・期日前投票所

お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)